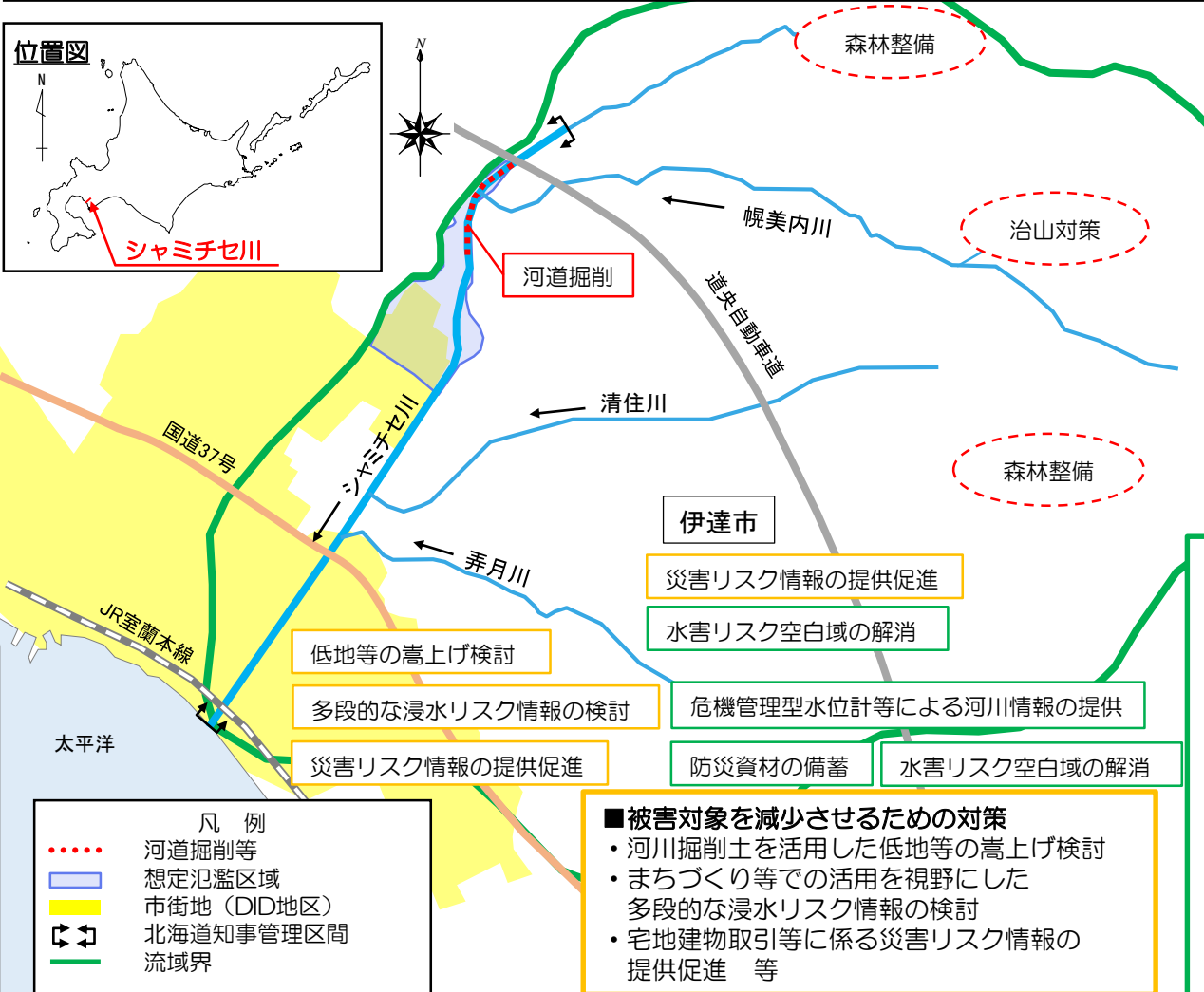
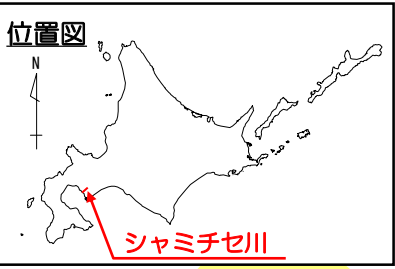


シャミチセ川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～古い歴史と伝統文化を有するまち“伊達市”を守る治水対策の推進～

資料4

昭和47年9月洪水等により甚大な被害が発生したシャミチセ川水系では、伊達市の市街地及び農地等を洪水から守るために「流域治水プロジェクト」として以下の取り組みを推進していくことで、昭和47年9月洪水を踏まえた河川整備計画規模の洪水を安全に流下させるとともに、流域における浸水被害の防止・軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削
- 治山対策
- 森林整備 等



河道掘削等 (胆振総合振興局)

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる河川情報の提供
- 河川管理施設の早期復旧に備えた防災資材の備蓄
- 水害リスク空白域の解消に向けた取組 等



危機管理型水位計による観測データの提供 (胆振総合振興局)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※治山対策・森林整備については、複数箇所を計画・実施しているため、流域内の代表箇所を明示している。

シャミチセ川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～古い歴史と伝統文化を有するまち“伊達市”を守る治水対策の推進～

シャミチセ川水系では流域全体を俯瞰的にとらえ、地域の産業と住民の安心・安全を確保するため、胆振総合振興局における取組はもとより、国や市とも協働しながら、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 河川の上下流バランスを考慮し、市街地及び農地の浸水被害を軽減するために、流下能力のネックになっている橋梁の架け替えといった対策を推進する。

【中期】 引き続き、市街地及び農地の浸水被害を防止・軽減するために河道掘削といった対策を推進する。

【中長期】 森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備・保全対策に継続的に取り組むこと等により、流域全体の安全度向上を図る。

【第1フェーズでの取組】

今後の事業進捗によっては、工程が変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	市街地及び農地を浸水被害から守るための河道掘削等	胆振総合振興局	橋梁改築（ネック解消）	河道掘削等	
	山地災害から流域を守るための治山対策	胆振総合振興局	治山施設等の整備		
	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備・保全対策	胆振総合振興局 後志森林管理署 市町等	植栽・間伐等の森林整備		
被害対象を減少させるための対策	河川掘削土を活用した低地等の嵩上げ検討	胆振総合振興局	低地等の嵩上げ検討		
	まちづくり等での活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討	胆振総合振興局	浸水リスク情報の検討		
	宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進	胆振総合振興局 伊達市等	災害リスク情報の提供促進		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる河川情報の提供	胆振総合振興局	危機管理型水位計等による河川情報の提供		
	河川管理施設の早期復旧に備えた防災資材備蓄の検討・整備	胆振総合振興局	検討	整備	
	水害リスク空白域の解消に向けた取組	胆振総合振興局 伊達市	水害リスクの検討	水害リスクの周知等	

【第2フェーズに移行】
気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

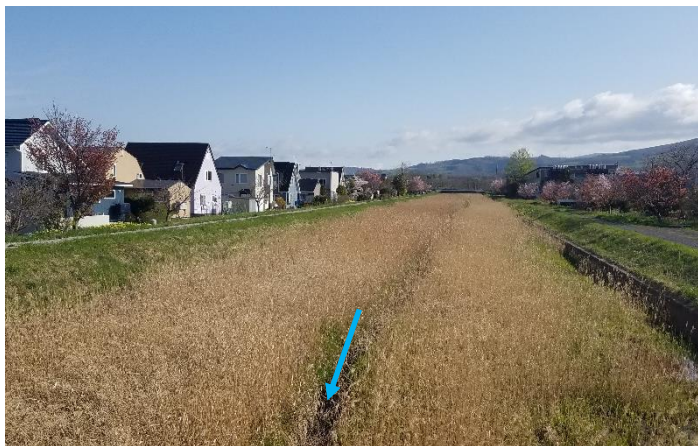
【事業費】
（令和3年度以降の残事業費）

- 河川対策（胆振総合振興局）
- ・事業費 約6億円
- ・対策内容 河道掘削 等

シャミチセ川水系流域治水プロジェクト【参考】

～古い歴史と伝統文化を有するまち“伊達市”を守る治水対策の推進～

河道掘削（胆振総合振興局）



（シャミチセ川）河道掘削等の実施

治山対策（胆振総合振興局）

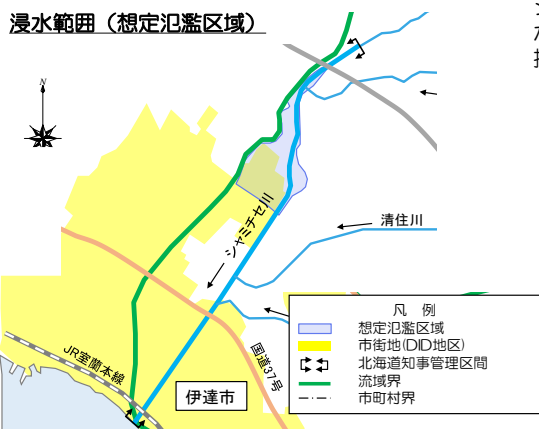


整備イメージ

民有林内における治山ダムの整備

まちづくり等での活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討 （胆振総合振興局）

浸水範囲（想定氾濫区域）



シャミチセ川水系には水位周知河川
が無い^がため、洪水浸水想定区域の
指定等^は行っていない

改正水防法
（2021年7月施行）

水害リスクの空白域を解消するため、
様々な降雨規模での洪水氾濫区域を
検討する

まちづくり等での活用
ハザードマップに活用

危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラによる 河川情報の提供（胆振総合振興局）



（シャミチセ川）簡易型河川監視カメラによる映像提供